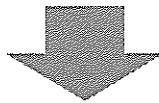


大阪市を中心に大阪全体の観光促進となる「大阪・光の饗宴」をめざし、水都大阪の個性を活かした「光」の位置づけを強化。2020年のオリンピックイヤーを目標に官民連携の都市経営プロジェクトの構築を目指す。

水と光の首都大阪の魅力を国内外へ発信



=2020年の目標として=

継続的な効果獲得：・1000万人以上集客獲得　・経済効果600億円

<方向性>

大阪のブランド向上

官民一体の都市経営

プロモーションの活性化

「大阪ならでは」を創出

民間投資誘発の取り組み

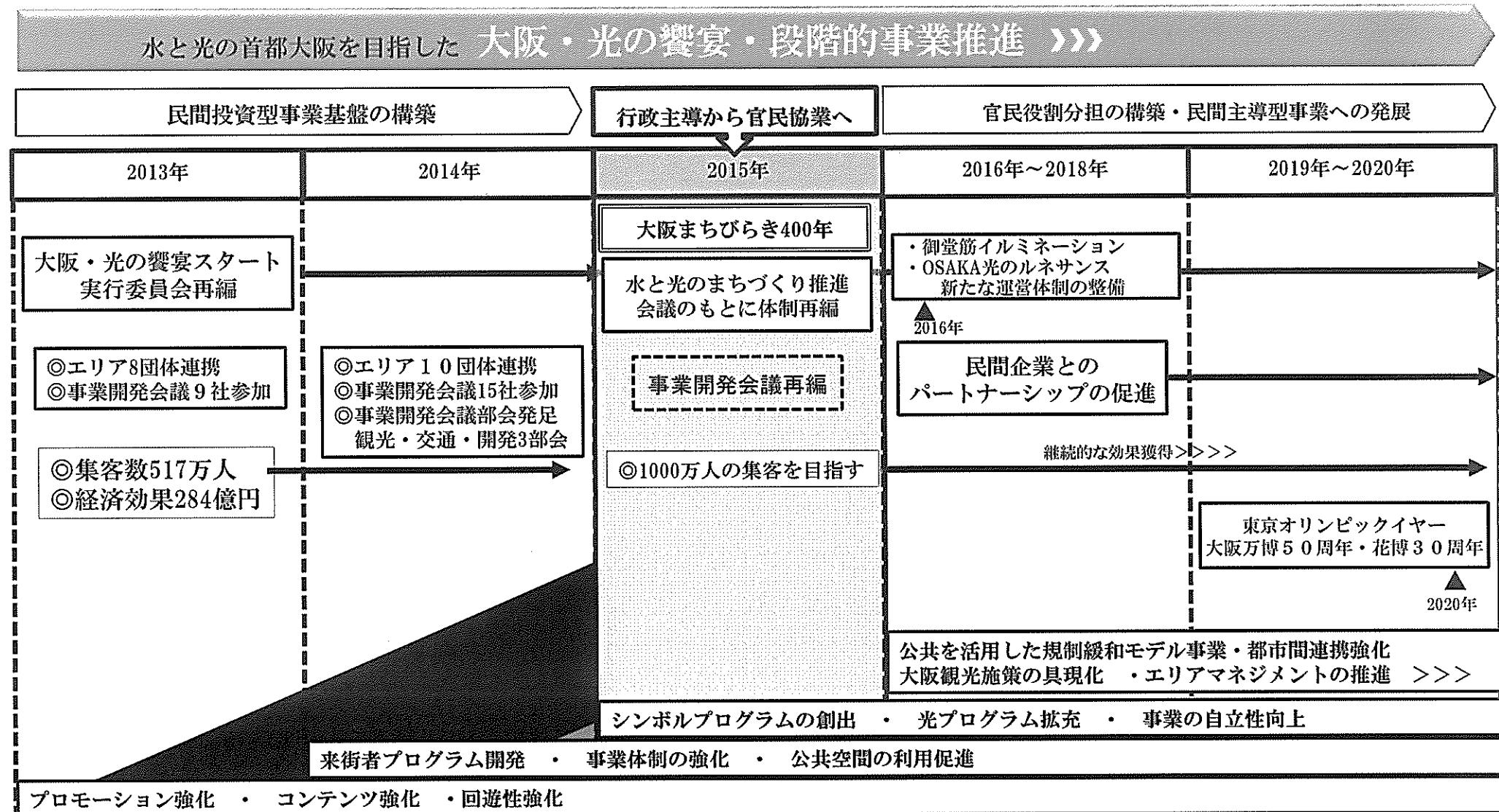
一体化による発信力強化

2020年に向けた新たな段階的事業推進

大阪の陣400年を経て「大阪まちびらき」を迎える2015年を皮切りに、
2020年オリンピックイヤー・大阪万博50周年・花博30周年に向け、
民力を活かし大阪が一体化した観光事業として段階的な事業推進を図る。

2020年に向けた段階的事業推進と2015年の位置づけ

- ◎2013年～2015年の3カ年は民間投資が具現化する事業基盤構築期間として仕組みや体制の強化と共に事業の自立性を向上するための商品造成などに取り組む。
- ◎2016年以降は官民の役割分担を構築し、民間が主となった事業への改変を目指す
- ◎2020年の東京オリンピックイヤーをめざし事業の安定開催と共に国内外への発信、集客のための事業整備などを目指す。



水と光のまちづくり 組織再編

